

ITEM in JRC2022

GE Healthcare Japan

Booth Report



Building a world that works

ITEM2022

GE Healthcare Japan: Overview



● Building a world that works

2022年4月15日～17日の3日間、パシフィコ横浜の展示場においてITEM2022が開催され、弊社のブースにおいても多数の製品、ソリューションを展示しました。コロナ禍にもかかわらず、

大変多くのお客様に御来場いただきました。厚く御礼申し上げます。

今年は「Building a world that works：より良い未来の創造に向けて」をテーマに出展。40周年を迎える年にふさわしい新製品に加え、医療の効率化を図るサービスやソリューションもご紹介しています。ブース内では40周年のロゴが掲示されたほか、40年の歴史と未来へつなげる映像などで歩みを紹介しました。



● 40周年の歩み、そしてより良い未来の創造に向けて

GEヘルスケア・ジャパンは、2022年に、前身である横河メディカルシステム株式会社が設立されてから40周年となる記念の年を迎えました。

1982年の拠点開設以来、グローバル展開する画像診断機器メーカーとして、研究開発・製造・販売・保守サービスを日本国内で行ってきました。その間、私たちを取り巻く環境は大きく変化してきたものの、「患者さんのために最善を尽くすことに誇りをもつ」という企業理念に変わりはありません。

プレジジョン・ヘルスの実現をビジョンに掲げ、一人ひとりにあった質の高い医療を効率的に提供できるよう、自社の強みを活かしつつ、パートナーとの協業を通じて医療における新たな価値の創造を推進します。

改めて、お客様が成し遂げようとしていることを理解し、その実現に向けた課題を明らかにし、課題解決の集団として世の中に貢献を続けていきたいと思います。



● GE Healthcare Virtual Exhibition 2022

ITEM2022の現地開催及びWeb開催期間に併せて、5/18までバーチャル展示サイト「GE Healthcare Virtual Exhibition 2022」を開設しています。パシフィコ横浜に実際に設置したGEブースを360°カメラで撮影し、オンライン上で再現しており、バーチャル空間上にて、各モダリティの製品・サービス、そして「医療の効率化」を図るソリューションなどの資料や動画の閲覧・ご視聴が可能です。

現地に足を運んだような感覚で、是非お楽しみいただければ幸いです。

開催期間：4月15日（金）～5月18日（水）※登録制

事前登録サイト：<https://gehcj-item2022.com/>



ITEM2022

GE Healthcare Japan: CT

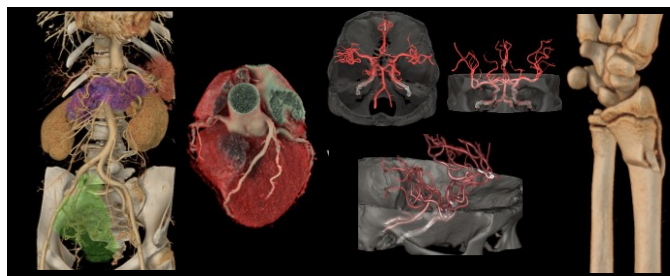


Key Points

- プレミアムAI CT Revolution Ascend リリース
- 1300mA&160mmカバレッジ次世代X線管 Quantix Tube
- 心臓CTの幅広いニーズに対応 SnapShot Freeze2.0
- プレミアムAI CT Revolution Ascend



GE社フラッグシップCTであるRevolution CTの40mmビームタイプCTとしての位置づけでリリースされたプレミアムAI CT Revolution Ascendの実機を展示し、多くのお客様に画質や操作性などの自動化を体感頂き大きな注目を集めました。特長の1つである画質に関しては、Revolution CTと同様のイメージチェーンといわれる再構成プロセスを搭載することで、鮮鋭度が高く、かつ淡いコントラストを明瞭に描出する画像の取得が可能となっています。ワークフローに関しては、ポジショニング、条件設定、画像再構成、画像解析に至るまで多くのAI、自動化機能搭載することで、ワークフローの向上だけでなく、無駄被ばく低減、ばらつきを抑えた高画質実現に貢献します。



● 心臓CTの幅広いニーズに対応 SnapShot Freeze2.0

昨年のITEMでリリースした本機能が、実臨床で稼働開始し、非常に多くの良いフィードバックを頂いています。SnapShot Freeze(以下SSF)2.0は心臓CT検査に求められる幅広いニーズに対応可能となっており、心臓検査をあまり行わない施設での安全・確実な実施のサポートから、心構造疾患の評価やTAVIやMitraClipといった非侵襲的な治療及び、大動脈弁形成術など外科的治療の安全実施にも貢献します。

またこのSSF2.0は、既存SSFからのアップグレードも可能となっており、CT装置自体の更新・バージョンアップを必要とせず、冠動脈CTの画質向上や、心臓CT検査の適応拡大が可能となります。



ITEM2022

GE Healthcare Japan: **MRI**



Key Points

- 新型1.5T MRI誕生「SIGNA™ Prime」
- 進化し続ける「AIR™」
- 最先端クリニカルソリューション「oZTEo」「MR Touch」



● SIGNA™ Prime

全く新しいコンセプトで誕生した 1.5T MRI。洗練された新しいデザイン、新型マグネットや先進のRF技術・AI技術などを搭載するに留まらず、新しいユーザーインターフェースを採用することで、MR検査効率を更に高めつつ、安定した高画質をお届け致します。展示ブースでは、LED大型モニターでの、製品コンセプトの紹介と新型オペレータコンソールでの操作性の進化を来場された多くの先生に実感頂きました。



SIGNA™ Prime

● AIR™ の進化

AIR™ テクノロジーは、ブランケットのような軽いコイルによる患者負担低減や、ディープラーニングを用いた検査ワークフローの向上など、毎年進化し続けています。今年の展示では、軽量で柔軟性の高い新しい多目的型 AIR™ MPコイルを展示し、多くの先生にその軽さと柔らかさを感じて頂きました。また画像クオリティを向上させるディープラーニング画像再構成技術、AIR™ Recon DLの体験型デモを行い、先生方がタッチパネルでの画質の変化を実感され、とても多くの驚きの声を頂きました。大型モニターでの国内外のお客様からの実際の声をお届けし、また豊富な臨床画像そして、実際の臨床・経営面での活用例をご紹介しました。



大型モニターでの展示



AIR™ MP コイル

● 最先端クリニカルソリューション

GE独自のゼロTEイメージングを活用した「oZTEo(オズテオ)」は、従来描出できなかった骨のイメージング手法。展示ブースでは、MR画像から骨を忠実に再現した3Dモデルを展示しました。来場された先生から「これ本当にMRの画像？言われなかったらCTに見える。」という声を頂きました。

また、新たに保険収載されたMR Elastography「製品名:MR Touch」のドライバーを展示。超音波のShear Wave Elastographyとの共同展示を行い、多くのお客様に体験頂きましたが、先生方の関心の高さが伺えました。



oZTEoによる骨イメージング
& 3Dモデル

● GE共催ランチョンセミナー「臨床MRI最前線」

座長を東京大学 阿部 修先生に座長の労を賜り、日本医科大学武蔵小杉病院の関根 鉄朗先生と滋賀医科大学の渡邊 嘉之先生にAIR™ Recon DLを中心とする最新MR技術についてご講演を頂きましたが、その臨床活用の多様性について大きな期待が寄せられました。また座席は満席となるなど盛況のうちに終了致しました。



ランチョンセミナー会場の様子

ITEM2022

GE Healthcare Japan: MI



Key Points

MI One MI Solutionで核医学の未来を創る
NM

● Smart Positioning搭載のMyoSPECT, AI搭載の
XelerisVが登場。最適化医療への扉を開きます。

PET

● 超高感度、Q.Clear、Advanced MotionFreeでお
客様のニーズにあわせて最適のご提案を。



● MI全体

スキャナーの実機展示はなかったものの、新製品の核医学用解析装置“Xeleris V”、半導体心臓専用機“MyoSPECT”を中心としてNM製品と、PET/CTのDiscovery IQ, Discovery MIDR, Discovery MIのePanelご説明と解析装置による臨床画像での有用性紹介を行いました。さらに実機としてFASTlab2(PET用放射性医薬品自動合成システム)を展示。予想以上のお客様がブースを訪問していただき充実した展示会となりました。

● NM (Nuclear Medicine)

半導体心臓専用機MyoSPECTを発売開始。患者ポジショニングを簡便に行うSmart Positioningを搭載し、最適化医療への扉を開きます。更に、AI搭載の核医学解析装置XelerisVを発表。臓器のセグメンテーションを自動化する事で大幅に解析時間を削減。従来手動により時間がかかり、再現性の低かったDosimetryをより簡便に、再現性高く実施可能になりました。



● PET/CT

GEのPET/CT全製品に跨る最大の特長である高感度、Q.Clear画像再構成、Advanced MotionFree（呼吸性体動補正を外部モニターを使わずに全自動で行う）を中心に紹介しました。更にDiscovery MIはCTのDeep Learning画像再構成であるTrue Fidelity Imagingを搭載した最新バージョンに進化しました。



● Radio Pharmacy

サイクロトロン、Ga68液体ターゲット、Zr89/Cu64等の金属系固体ターゲット、FASTlab2を中心にトレンドをご紹介。核医学に関わる全ての領域での将来サポートをご提案しています。



ITEM2022

GE Healthcare Japan: **Interventional** (x線血管撮影装置)



Key Points

- 理想のハイブリッド手術室を体感
 - ショールームからデモンストレーション生中継
 - Allia IGS7 VRデモンストレーション
- 最適なTACE手技をサポート
 - Liver ASSIST Virtual Parenchyma

Interventionalでは最新のハイブリッド手術室向け血管撮影装置 Allia IGS7、血管撮影装置 Innova IGSシリーズ、術前プランニングから術中ナビゲーションをサポートするASSISTアプリケーションをご紹介します。

● 理想のハイブリッド手術室を体感

理想のハイブリッド手術室を実現する第2世代床自走式タイプのx線血管撮影装置の実機デモンストレーションを、Getinge社のショールームから生中継で行いました。TAVIをはじめとするSHD手技やステントグラフトといった、ハイブリッド手術室で行う様々な診療科の手技・機器配置に合わせてフレキシブルなアプローチが可能なGE独自の“床自走式”を体感頂きました。また、VRアプリケーションでAllia IGS7の操作性を体感頂きました。



Allia IGS7

● 超選択的TACEをサポートする

Liver ASSIST Virtual Parenchyma

Deep Learning技術を用いて開発された、TACE支援アプリケーション Liver ASSIST Virtual Parenchymaをリリースしました。

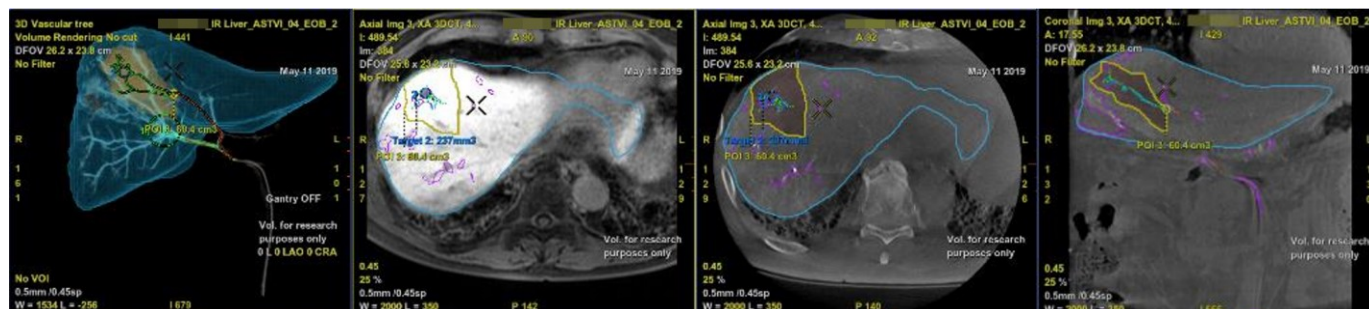
従来のLiver ASSIST V.I.(Virtual Injection)が更に進化し、腫瘍への栄養血管の探索だけでなく、血管塞栓によって影響を受けると推測される肝実質の範囲を3D表示可能となりました。



リモート・デモンストレーションの様子



VRによるAllia IGS7体験



Liver ASSIST Virtual Parenchyma

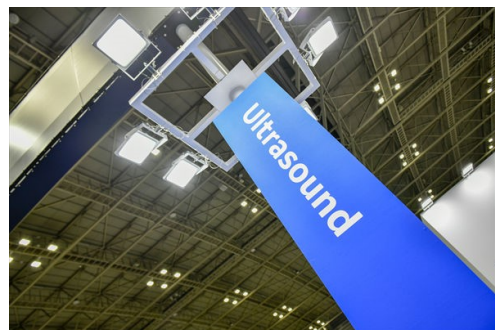
ITEM2022

GE Healthcare Japan: **Ultrasound**



Key Points

- LOGIQ E10x, P10 を展示
- Vivid E95 を展示
- 大好評 Vscan Air を展示



● LOGIQ E10x、LOGIQ P10 を展示

フラグシップモデル LOGIQ E10x, コンパクト普及機 LOGIQ P10を展示しました。

LOGIQ E10xでは、全視野フルフォーカスで高画質であること、と共に、肝線維化評価のSWE, 減衰評価ツール, Fusion技術などを診断~治療をアシストする機能を、手軽に精度よく実施できるとご評価いただきました。

LOGIQ P10 でもハイエンドから移植したイメージチューニングによりハイエンド並みのコンパクト装置で、取り回しもよいとご好評いただきました。



LOGIQ E10x

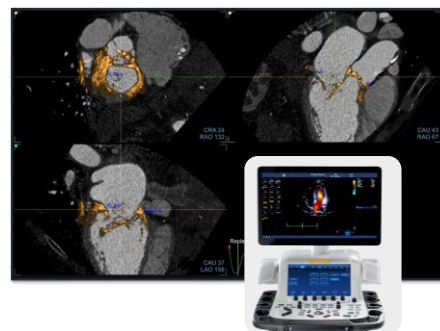


LOGIQ P10

● Vivid E95 を展示

心エコー検査における時間のかかる各種計測における自動計測機能の優秀性などをご体感いただき、再現性の高さやワンクリックで計測終了する使いやすさなどで 検者間誤差低減やスループット向上などに強い期待をいただきました。

CTと超音波と組み合わせたCT-FUSION機能をご紹介させていただき、治療分野においてもTotal Cardiology Solutionとしてご好評いただきました。



Vivid E95 + CT FUSION

● Vscan Air を展示

新製品Vscan Airを展示しました。ワイヤレス, iOS/Androidとの接続, 高画質など従来のVscanにはない特徴を多く備えた点をご説明し、たくさんのブース来訪者の興味をひきました。デジタルに慣れた若手の先生に限らず、ベテラン医師の先生方にもポジティブなご意見を頂くことができ、今後の可能性を大に感じました。



ITEM2022

GE Healthcare Japan: Women's Health



- マンモグラフィ装置 **Senographe Pristina Gen2**
- Biopsy オプション **Pristina Serena3D**
- 骨密度測定装置 **PRODIGY Fuga**
- 乳房超音波装置 **ABUS**

● Senographe Pristina Gen2

2021年末に販売を開始した2世代目のPristinaを展示、新しくなった画像処理や操作性をご体感いただきました。特に、新しい画像処理技術3Dの動き補正や合成2D(V-Preview) 画像は厚みのある3D画像(Slab)と共に“価値がある”と驚きの声をいただきました。実機に触れ、ポジショニングをしていただき、乳房支持台の薄さ・角の丸み、操作性の良さを体感いただきました。「痛みだけでなく、ポジショニングがしやすい！」等、多くの嬉しいお声をいただきました。

● Pristina Serena3D

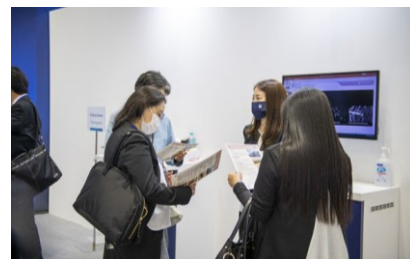
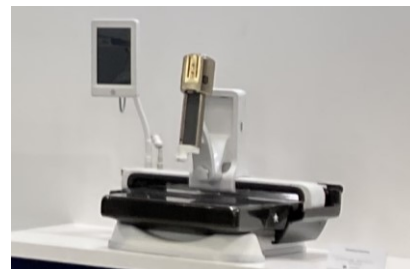
会場では、PristinaのBiopsy機能であるSerena3Dを展示、これまでは困難であった症例においても、アクセスしやすいように考えられた様々な機能はご来場者様から高くご評価をいただきました。特に病変へアクセスしやすいBiopsyユニットのデザインをご体感いただき、視覚的に分かりやすいバイオナビゲーション、金属アーチファクトの少ない3D Biopsy画像に驚きの声を多数いただきました。被ばくを半減し、15分以内に確実な検査が可能であり、Pristina Serena3Dは予想以上の反響でした。

● Lunar iDXA /PRODIGY Fuga

展示会場では、GE骨密度装置の高い検査効率、精度、検査の容易さにご来場者様から高いご評価をいただきました。腰椎と大腿骨を連続的に撮影できるOneScanによる検査時間の大幅な短縮、拡大誤差を抑える鋭角ファンビームによる高精度な測定、そして検査の客観性と簡便化を実現する自動解析を、実際のenCOREコンソールデモを通じて体感いただき、多くの驚きの声をいただきました。

● 乳房用超音波画像診断装置 Invenia ABUS

“乳がん検査に超音波も”ということで、検査者依存の少ない方法でデータを収集でき、放射線機器と似た読影が可能なソリューションとして展示しました。多くの方が足を止めて下さり、新しい乳房超音波の検査方法、そしてより使いやすくなったInvenia ABUSの進化を実感して頂けました。



ITEM2022

GE Healthcare Japan: **Surgery**



Key Points

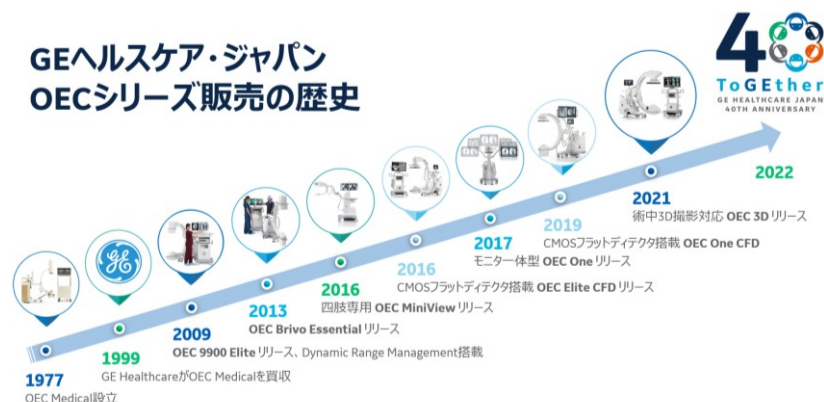
- 手術室のあらゆるニーズに応えるOECフルラインナップ
- 術中3D撮影対応Cアーム OEC 3D 国内臨床稼働開始
- モニター体型 OEC One CFD 31cm モデルリリース

● OECフルラインナップ

術中3D撮影対応のフラグシップモデルOEC 3D, 31cm CMOSフラットディテクタを搭載したモニター体型モデルOEC One CFDが新たにラインナップに加わることで、手術室の様々なニーズに応えられるフルラインナップが完成しました。会場ではGEHC-J設立40周年記念に合わせて、OECシリーズの開発・販売の歴史についてもご紹介しました。



GEヘルスケア・ジャパン OECシリーズ販売の歴史



OEC 3Dによる術中3D画像

● 術中3D撮影対応Cアーム OEC 3D

フラグシップモデルOEC 3Dの展示では、その高精細な3D画像や効率的なワークフローを国内での臨床稼働実績と合わせてご紹介しました。OEC 3Dは19cm x 19cm x 19cmの視野サイズで広範囲の3D撮影が可能で、タッチパネルモニタを用いた直感的な操作によりポジショニングから撮影、3D画像処理まで簡便に行うことができ、会場では実機によるデモンストレーションを行い大きな注目を集めていました。

また、従来の2D撮影においても今までと全く同じ使い方ができ汎用性に優れている点も好評で、多くのお客様がコンパクトでハイパフォーマンスなOEC 3Dに驚きの声が上がっていました。

● モニター体型 OEC One CFD

27インチ4Kモニタが一体型となったCアーム装置OEC One CFDに新たに31cm CMOSフラットディテクタを搭載したモデルが加わり、より幅広いご要望に応えることが可能となりました。会場では実機デモンストレーションにより、フレキシブルなモニタの動きと視認性、電源ケーブル1本のみで運用できる利便性・安全性をご覧いただきました。



OEC One CFD

ITEM2022

GE Healthcare Japan: **Service/Edison Solution**



Key Points

- ESW Radiation
- Cyber Security
- Capacity Command Center

ESW Rad Suite

デジタルでより安全・安心・信頼された病院インフラとしての放射線科を目指す保守サービスオプション



● ESW Radiation

ESW(EdiSolWorks)は、院内のデータ利活用とそのサポートを提供するクラウド型プラットフォームです。各種院内情報システムから出力されたデータやセンサーなどのIoTデータをダッシュボードで見える化し、さらにそのデータに基づいた改善アプローチのためのレポートやオンラインサポートをご提供します。

ESW Radiationでは、放射線科の様々な課題に関して、放射線部門だけが持つRIS/PACSデータを一元的（マルチベンダー）に集中分析するクラウド環境を提供します。

● Cyber Security

急増しているサイバー攻撃から放射線科・検査科のネットワークを守るため、Cyber Securityサービスを正式リリースすることになりました。InSiteルーターと病院ネットワークの間に、ファイアウォールを接続するシンプルな構成だが堅牢です。Port開閉を自由に制御が可能、通信ログなどより、サマリーレポートの自動配信機能付きで管理者にも安心を与えられます。

また、最新のマルウェアにも対応していますので、安心、安全を提供します。

● Capacity Command Center

Capacity Command Centerは、電子カルテをはじめとする各種院内情報システムに紐づくデータを、リアルタイムで分析・可視化を行うことにより、患者さんへのケアに必要なリソースを効率的に配分し、必要なケアをタイムリーに提供するための意思決定を促す中央集中管制塔としての役割を果たすシステムです。コマンドセンターはデータの統合分析サーバと複数のタイル（Tile）と呼ばれるアプリケーションで構成されており、このタイルを通じて病床管理・入退院支援に必要な院内データを分析・可視化し、ケア需要の予測、施設間の移動、ケアの進行、退院計画など、刻一刻と変化する患者さんの状況をタイムリーに捕捉することで、医療従事者の高品質かつスピーディーなケアの実現を目指します。タイルの数や種類は、施設の規模やニーズに即して変更できるモジュール形式になっています。

ITEM2022

GE Healthcare Japan: **ヘルスケア・デジタル**



Key Points

- VNAを基盤とした様々なデータ活用のソリューション
- AIアプリケーション活用の取り組みアップデート

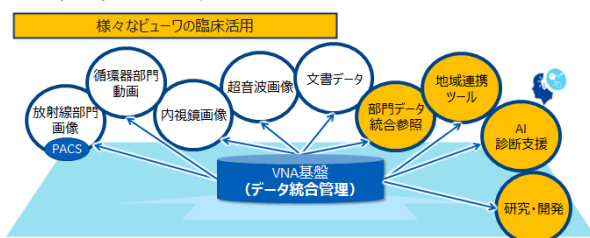
● VNA(ベンダー・ニュートラル・アーカイブ)を基盤としたデータ活用

GE VNAは、標準規格への準拠とオープン思想により、データ活用の基盤として活用して頂くことが可能です。DICOM/Non-DICOM画像データの統合管理をベースに、**地域・グループ**など複数施設での**データ共有**、**研究用データベース**、OCDB(オープン・コネクト・データベース)による**臨床でのマルチビュー活用**などのユースケースを紹介しました。

OCDBは、「データが各サーバ(診療科)に分散」「サーバと異なるベンダーのビューを使いたい」「サーバとビューワ間の通信速度が遅い」という課題に対して、「他社ビューワからでも、GE VNAに高速アクセス」を実現します。これにより、「**複数サーバの統合管理**」「**マルチビュー活用**」が可能になります。

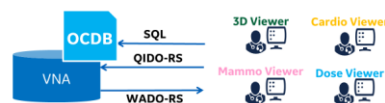
OCDBを使った構築例は増えており、会場では、最新状況のご説明、及び他社ビューワから弊社VNA内のデータを高速表示するデモンストレーションを実施しました。

VNAは“データ活用”のための基盤



補足：VNAの課題を解決したGEのオープンプラットフォーム

- ・ VNAのデータベースをビューベンダーに公開 (高速にVNA内データを検索)
- ・ 高速で運用できるDICOM Web Services(WADO-RS/QIDO-RS)



VNA内の画像へ、他社ビューワから高速アクセスが可能に

QIDO-RS: Query based on IHE DICOM Objects - RESTful Service
WADO-RS: Web Access to DICOM Persistent Objects - RESTful Service

● AIアプリケーション活用の取り組みアップデート

AI技術の活用で放射線科の業務を効率化するには、目的毎の様々なAIをシステムへ組み込み、診断ワークフローで効率的に活用することが必要になります。弊社では以下の取り組みを行っています。

1. クラウド上のAI開発プラットフォームで、様々なAIベンダーと**アプリケーションの共創**を進めています。
2. 同一プラットフォームで様々なアプリケーションを運用できるようにするため、**他ベンダーとワークフローへの実装のコラボレーションを拡大**しております。会場では、弊社/他社ビューワでAIの処理結果を参照するデモンストレーションを実施しました。

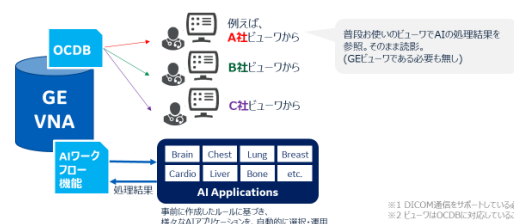
3. 活用ワークフローにおいて、どのような時にどのAIに処理させるかをあらかじめ設定しておくことで、**アプリケーションの処理を自動化**し、ユーザーは追加作業なく、結果を参照できるようになります。VNAをプラットフォームとしてAIを活用した場合には、**様々なAIの処理結果を好きなビューワで参照**できるようになります^(※1)。

※1：OCDB接続に対応していることが条件です。

VNAのメリットをいかしたAI運用

VNA+OCDBで運用した場合：

- **様々なベンダーが提供するAIアプリケーション^{※1}**を採用できる
- **お好みのビューワ^{※2}でAIの処理結果を参照**できる



※1: DICOM規格をサポートしている必要があります
※2: ビューワはOCDBに対応している必要があります

コンセプト
紹介

薬事情報一覧



CT

販売名称：マルチスライスCTスキャナ Revolution
認証番号：226ACBZX00011000

販売名称：Revolution Ascend (レボリューションアセンド)
認証番号：302ACBZX00041000

販売名称：アドバンテージ ワークステーション
医療機器認証番号：20600BZY00483000

MRI

販売名称：シグナPrime
医療機器認証番号：303ACBZX00016000

販売名称：AIR MP コイル 3.0T
医療機器認証番号：302ACBZX00022000

Molecular Imaging

販売名称：X線CT組合せ型ポジトロンCT装置 Optima PET/CT 500, Discovery PET/CT 600
医療機器認証番号：221ACBZX00029000
類型：Discovery MI-15, Discovery MI-20, Blackbird-64

販売名称：X線CT組合せ型ポジトロンCT装置 Discovery IQ
医療機器認証番号：226ACBZX00038000
※Advanced MotionFreeは薬事書類上のData Driven Gatingのことです

販売名称：核医学診断用装置 Discovery NM/CT 670
医療機器認証番号：222ACBZX00088000
類型：NM/CT 850, NM/CT 860, NM/CT 870DR, 870CZT

販売名称：核医学装置ワークステーション ジニー (GENIE)
医療機器認証番号：20700BZY00161000
類型：ジニーエクセラリス (GENIE Xeleris) シリーズ

販売名称：核医学診断用リング型SPECT装置 MyoSPECT (マイオスペクト)
認証番号：303ACBZX00035000

販売名称：放射性医薬品合成設備 FASTlab 2
認証番号：23100BZX00015000



Interventional

販売名称：多目的X線撮影システム Discovery (Allia IGS7)
医療機器認証番号 225ACBZX00006000

販売名称：多目的X線撮影システムINNOVA (Innova IGS5)
医療機器認証番号：21500BZY00327000

販売名称：多目的X線撮影システムINNOVA II (Innova IGS6)
医療機器認証番号：219ACBZX00035000

販売名称：アドバンテージワークステーション
医療機器認証番号：20600BZY00483000

マグナス手術台 埋込型 11080
届出番号 13B1X00176SW0021
※詳細は、ゲティンゲグループ・ジャパン社にお問い合わせください。

Ultrasound

販売名称：汎用超音波画像診断装置 LOGIQ E10
医療機器認証番号：230ABBZX00025000
※LOGIQ E10xはLOGIQ E10 R2以上のニックネームです。
※LOGIQはゼネラル・エレクトリック社の登録商標です

販売名称：汎用超音波画像診断装置 LOGIQ P9
医療機器認証番号：226ABBZX00119000
※LOGIQ P10はLOGIQ P9の類型です。

販売名称：汎用超音波画像診断装置 Vivid E95
医療機器認証番号：227ABBZX00035000
※Vivid E90はVivid E95の類型です
※Vivid E95 Ultra Edition及びVividE90Ultra Editionは特定のオプションを搭載した上記医療機器パッケージのニックネームとなります。

販売名称：汎用超音波画像診断装置 Vscan Air
医療機器認証番号：303ACBZX00012000
“Vscan Air CL”は、上記医療機器の装置本体（CLプローブ）のことです。
モバイル端末はVscan Air CL 一式には含まれません

薬事情報一覧



Women's Health

販売名称：乳房用 X 線診断装置 Senographe Pristina
医療機器認証番号：228ACBZX00013000

販売名称：X線骨密度測定装置 PRODIGY
医療機器認証番号：21500BZY00582000
※PRODIGY FugaはenCORE SW V16.sp1以降のVersionを搭載する上記医療機器のニックネームです。

販売名称：乳房用超音波画像診断装置 Invenia ABUS
医療機器認証番号：226ABBZX00065000

Surgery

販売名称：OEC Elite シリーズ
医療機器認証番号：228ACBZX00014000

販売名称：OEC One シリーズ
医療機器認証番号：230ACBZX00021000

販売名称：OEC Elite MiniView シリーズ
医療機器認証番号：228ACBZX00006000

販売名称：OEC Brivo シリーズ
医療機器認証番号：225ACBZX00037000

販売名：OEC 9900 シリーズ
医療機器認証番号：221ACBZX00018000

ヘルスケア・デジタル

薬事認証書販売名 セントリシティ・ユニバーサル・ビューワ
医療機器認証番号 第225ABBZX00019000号

※記載内容は、お断りなく変更することがありますのでご了承ください。